繊維街道

私の道中記

サンコロナ小田　社長
小田 外喜夫 氏 5

サンコロナ小田は、大化けしそうな新たな事業に乗り出した。

炭素繊維の生産では日本が世界をリードしているのですが、それを加工する川中産業は成熟していません。ここにチャンスがあると思い、炭素繊維使いの織物を1カ月で完成させました。ところが、専門家の方々にすごい技術だと称賛してはいただいたのですが、事業化のめどが立ちません。それでも開発を続けていたので、社内外から「社長の道楽や」との声が出始めました。

転機は、金沢工業大学・革新複合材料研究開発センター（ICC）所長の鵜澤潔教授との出会いでした。文部科学省は、石川県が推進する炭素繊維を中心とした事業を、「革新的イノベーション戦略支援プログラム」として採択し、国が100億円の資金を投入していました。鵜澤教授はその事業統括研究者として県内を駆け回る中で、当社の分繊・開繊技術に可能性を感じられました。これがきっかけとなり、鵜澤教授と、ICCの西田裕文博士の助言を得て、世界で誰も成し得なかった新発想のシューズだ。このシューズの靴底成形技術は、世界最大級の複合材料展「JECワールド2020」のスポーツ&ヘルス部門で、最優秀賞を受賞した。同部門での日本企業の受賞はこれが初だという。プレス金型製造のニットー（横浜市）も、フレックスカーボンを用いて、医療従事者向けのウエアラブルチェア（着る椅子）を開発した。

フレックスカーボンは、日本が本来得意とする小さくて細かい妥協のないモノ作りに最適な材料です。プレス加工による量産化にも適しており、これまでの不可能を可能にするポテンシャルがあります。この材料をさまざまな分野でご活用いただき、革新的な製品として世界に輸出できれば、北陸産地の活性化、ひいては日本の産業全体を盛り上げる起爆剤になると私は確信しています。

一方、当社事業の柱となっているインテリアは、機能と感性を武器に安定した成長を続けています。ファッション市場の開拓に向けても、欧州を中心に新たな戦略を展開しています。

どんな時代であっても当社は、前向きに挑戦し続けます。その根底には、当社の基本理念である「イキイキハートのイキイキ経営」があります。これは「個を生かし、組織を活性化する」「働く人のヤル気こそが経営の最も価値ある資源」という考え方に基づくもので、社員一人一人が熱き想い・志を実現し、個の創造エネルギーを組織と限りなく一致させることで、社員と会社が共に成長することを目指しています。

私自身は現在、体力・気力共に青春まっただ中。これからも「ハッピーアクシデント」（ピンチはチャンス）の気持ちでいかなる難局にも立ち向かい、社員と一丸になって、幸せな人生を送りたいと思います。

（文中敬称略、この項おわり）

青春まっただ中

「フレックスカーボン」で素材革命を狙う

東亜紡織の学生服地
柄物も合繊高混率用意
デジタルアーカイブを活用

トーア紡コーポレーションの衣料事業会社である東亜紡織は2021年入学商戦向け学生服地提案で柄物にも合繊高混率品を用意する。主力のウール高混率品のシェアを守りながら、市場ニーズが高まる合繊高混率品のラインアップも拡充することで業容の維持・拡大を目指す。

同社の20年入学商戦向け学生服地販売は流通在庫の減少や縫製スペースのタイト化などでアパレルが比較的積極的な作り込みを進めたことで販売数量、売上高ともに前年度比微増となった。モデルチェンジ（MC）商戦も前年実績を上回った。その中で合繊高混率品の比率はこれまで以上に高まった。MC商戦でもウール30%・ポリエステル70%混品の採用が一段と増えている。

このため21年入学商戦に向けて無地だけでなく、スカート地やパンツ地向けの柄物でも合繊高混率品のラインアップを拡充する。新柄提案も3分の2はウール50%・ポリエステル50%混タイプだけでなくウール30%・ポリエステル70%混タイプを用意した。

ストレッチ品へのニーズも一段と高まった。同社は紳士服地の技術を応用して開発した2ウエーストレッチの学生服地を昨年から本格提案しているが、こちらも合繊高混率タイプを用意する。

一方、新型コロナウイルス感染防止のためソーシャルディスタンス（社会的距離）が求められるようになったことで商談が停滞する懸念がある。このため学生服向け柄物デジタルアーカイブ「トーア紡デジタルライブラリー」などの活用も進める。デジタルソリューションを活用することでリモートワークでも商品提案が可能な体制づくりに取り組む。

臨時休業の影響を軽減
販売時セール表示柔軟に
倉庫品も参考上代と解釈

関西3府県で緊急事態宣言が解除され、春物商品のセールが店頭でも本格化していく。ここで問題となるのが、4月8日以降、百貨店の臨時休業で搬出できず、倉庫に眠っていた春物商品。店頭に出ずに、例えば5割引きと表示したら、景品表示法の「二重価格表示」に触れる。この問題に消費者庁表示対策課は柔軟な姿勢を取っている。

日本アパレル・ファッション産業協会によると、一度も店頭やネット販売などの実績がない商品を、下げ札にある上代価格を「過去販売価格」とみなし、「50%オフ」といった「比較対象元上代」にすることは法律に抵触する可能性があった。

しかし、今回は新型コロナウイルスの影響もあり、倉庫にある値札の価格を「参考上代」とみなし、過去の比較対象価格と解釈。消費者庁は消費者を惑わすことがないよう「緊急事態宣言のため休業中に販売予定であった商品」など店頭POPで周知すれば問題ないと確認した。

販売していたが、2週間を経過せず、臨時休業に入った商品についても、「休業期間を差し引いて2週間以上の販売を行えば、販売実績として認められる」ことになった。

これから春物セールが本格化するが、タグの付け替えが容易になり、早めに店頭に出した商品を、営業再開した店でセール販売しやすくもなる。

レ　東
新規高弾性率炭素繊維開発
3年以内の製品化目指す

東レは、幅広い産業に応用できる高弾性率炭素繊維と、この炭素繊維を使用した射出成形加工に最適な樹脂ペレットを創出した。同ペレットを用いることで軽量でありながら、複雑な形状で高剛性の部品を効率的に製造できる。今後3年以内の製品化を目指し、研究・技術開発を進める。

圧力容器や自動車、航空機用途に使用される高強度炭素繊維「トレカT」シリーズを販売し、2014年に世界最高強度を持つ「T1100G」を発売。18年にはナノレベルの技術を適用することで高弾性率と高強度を両立した「M40X」を商品化。ただ高弾性率の炭素繊維はコスト面に課題があった。

今回、MXシリーズに応用したナノレベルでの構造制御技術を発展し、産業用トレカTシリーズの標準的な弾性率230GPaを約70%向上した390GPaの高弾性率炭素繊維の開発に成功。コストパフォーマンスにも優れるという。

この炭素繊維を使用した射出成形用樹脂トレカペレットは、軽量合金の代表であるマグネシウム合金に匹敵する弾性率を軽量で実現できる。新規ペレットは軽量化の需要が高まると予想される自動車部品用途や一般産業用途など幅広く展開する。

桑村繊維株式会社
本社　兵庫県多可郡多可町中区曽我井315
Tel.(0795)32－1180
Fax.(0795)32－0065
https://www.kuwamura.co.jp/
織物創造発信基地

アニメで販促プロモ
デサント「クーリスト」

デサントはクーリング素材「クーリストD・Tec」（以下クーリスト）で、同社が契約するトップアスリートをアニメーション化した動画で今シーズンのプロモーションを展開する。スペシャルサイト（https://www.descente.co.jp/jp/coolist）や〝チームデサント〟各ブランドのホームページで公開する。

クーリストは同社が独自に開発したクーリング素材。特殊な生地構造により水分の吸収・拡散・蒸発、換気や通気といった手法で衣服内から熱を積極的に放熱させる。

チームデサントプロジェクトと連動し、野球の大谷翔平選手、競泳の瀬戸大也選手らが登場するアニメでクーリストの〝動くたび、涼しい〟という特徴をPRする。

6月8日から29日の期間、公式通販サイトで「クーリストキャンペーン」を実施する。クーリストに限らず、通販サイトから購入した顧客にこのアニメのオリジナルイラスト入りボックスをプレゼントする。

人事

台湾聯合艾諾股份（4月30日付）董事長（董事）東浩之▼董事（董事長）藤澤光徳

セーレン（6月19日付）取締役　執行役員　竹澤康則▽常勤監査役（取締役兼専務執行役員）牧田博行▽社外監査役　高坂敬三▽執行役員　久嶋祐司▽常勤顧問（執行役員）斉藤比禄幸▽退任（同）坂上剛、（常勤監査役）野村正和、（社外監査役）高木繁雄

新内外綿（6月19日付）辞任（社外取締役）尾崎洋一郎

サカイオーベックス（6月26日付）代表取締役　専務　土田雅幹▽取締役　松木純、衡田正行▽取締役（常勤監査等委員）小出誠▽取締役（監査等委員）高島悠輝▽退任（代表取締役専務）北嶋和明、（取締役）尾崎郁夫、（社外取締役）高橋利幸、（取締役（常勤監査等委員））多田達夫

サイボー（6月26日付）代表取締役専務（専務取締役）繊維事業本部長兼東京支店長　飯塚榮一▽取締役会長（代表取締役会長）飯塚博文

ZOZO（6月29日付）取締役　小澤隆生、齊藤太郎

連結決算

単位＝100万円、配当＝円、▲損失
（IFRSの純利益は親会社株主帰属当期利益）

通期	20.3	19.3
□日東紡		
売上高	85,722	82,292
営業利益	8,160	8,198
経常利益	8,202	8,934
純利益	5,771	7,984
配当	45	40
〔繊維〕		
売上高	3,616	4,862
営業利益	▲ 221	▲ 373
□セーレン		
	20.3	19.3
売上高	120,258	122,702
営業利益	10,502	10,587
経常利益	11,250	11,575
純利益	8,551	8,226
配当	36	30
〔車輌資材〕		
売上高	69,766	73,828
営業利益	6,278	6,398
〔ハイファッション〕		
売上高	24,681	25,398
営業利益	1,101	1,052
□サカイオーベックス		
	20.3	19.3
売上高	27,561	27,265
営業利益	2,123	2,024
経常利益	3,013	3,110
純利益	2,313	2,227
配当	65	55
〔染色加工〕		
売上高	12,220	12,308
営業利益	924	870
〔繊維販売〕		
売上高	8,933	8,542
営業利益	459	442

おわびして訂正します

20日付7面スイス・サニタイズドの記事で、見出しと本文で「ネコカリシ」とあるのは、「ネココロナ」の誤りです。

往来

「これまで以上に国産レーヨンは機能化やサステイナビリティー（持続可能性）などの特徴を打ち出すことが不可欠」と指摘するのはダイワボウレーヨンの福嶋一成社長（写真）。同社は国内レーヨンメーカーの一角として国産レーヨンを生産してきたが、このほど同業他社であるオーミケンシがレーヨンわた・糸生産からの撤退を発表し、いみじくもレーヨン事業を取り巻く市場環境の厳しさが浮き彫りになった。

「レーヨンは完全に国際競争の世界になる。そこでどのように〝国産レーヨン〟の存在感を出せるかだ」と、輸入レーヨンとの差別化に向けて決意を新たにしている。